

子罕第九

子曰、吾未見好徳如好色者也。

子曰わく、われいま とく この吾未だ徳を好むこと、
いろ この色を好むがごと如くなる者を見ざるなり。

(9-226)

<子曰わく吾未だ徳を好むこと、色を好むが如くなる者を見ざるなり>

Q : 「子曰わく、吾未だ徳を好むこと、色を好むが如くなる者を見ざるなり」とは何ですか。

A : (1) 「孔子が言った。私はこれまでに良識的に異性を好むのと同じように、徳を愛する人を見たことがない」の意。

(2) 「わたしはまだ徳を好むこと、美人を熱烈に好むようにする者を見たことがない」の意。

(3) 「徳」とは、人が天から授かった美しい徳。

(4) 「色」とは、美人のこと。

(5) 孔子が 57 歳の時に衛にいた。雲公の婦人で美人の評判の高い南子が雲公と車を同じくして市中を逍遙しやうよう(特に何をするという決った目的も無く、気分転換のために山野や川のふちを歩くこと)した。孔子は次乗を命ぜられやむなくこれに従った。孔子は、この雲公と南子の姿を見てこのことばを發したと、司馬遷は史記に記載。